



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 3

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4

福光会館 2F ふくみつ光房内

TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、

h.tonamirc@gmail.com

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 2 9 回例会

平成 2 4 年 7 月 1 8 日(水)

南砺市井波総合文化センター エイトホール

1. 点 鐘：河合会長
2. ソング：四つのテスト
3. ゲスト卓話者：山田源治氏(郵便局株式会社井波郵便局長)
4. ビジター：忠永明君(小矢部中央)、西川雄策君(南砺)



5. 会長の時間：最近暑い。報道でウナギの話が多い。外国産でもアフリカとか。富山県民にとってマグロは無くてもウナギは欲しい。(横の花瓶に挿された切花を指して)この緑の花はタカノハネと言うが大きくなる。端の小さい花はツキヌキニンドウ。この花の赤色は緑に合い、目にもよい。植物の仕事をしているので、今後もその話をしたい。



6. 幹事報告：①米山「6月の寄付金傾向」、「ハイライトよねやま」が来ています。(各テーブル回覧)②「第11回ロータリー日韓親善会議」、8月31日・9月1日東京グランドプリンスホテル新高輪「飛天の間」で開催されます。参加希望者は申し出て下さい。③地区大会が11月10日11日富山国際会議場で開催されます。10日の指導者育成セミナーで講師をされる熊本県知事蒲島郁夫氏の話聞いたことがあります。200人聞いて200人眠たくならない、大変ためになる面白い話をされたので、是非聞いて下さい。【蒲島郁夫氏：

熊本県知事 2 期。高卒後、自動車販売会社に勤務するも、3 週で退職し、地元農協に勤務。その後農業研修でアメリカ留学、学問に目覚め、ネブラスカ大学農学部に入學、「ブタの精子」の研究を。その後、政治学に転向、ハーバード大学に入學。帰国後、筑波大学の研究室へ入り、その後同大学教授、更には東大教授を経て、2008 年より熊本県知事、今年大差で再選。異色の政治家として有名。】④南砺 RC より会報が届いています。⑤例会変更は事務局に問い合わせして下さい。

7. 委員会報告：①社会奉仕委員会(山本委員長)：いなみ太子伝観光祭クリーン作戦、**7月30日6時から開始、会員は15分前までに瑞泉寺山門に集合**をお願いしたい。又、前日の**氷の彫刻フェスティバルは、29日6時までに参加可能な方は、お集まりください。終了後、納涼会**をします。来週、小生欠席ですので、この案内が最後になりかもしれません。②2011-12 年度収支決算報告(坂井会計)：予算作成時より、2 名の入会があり収入が 60 万増え、事業費や一般経費は予算どおりの執行だったため、50 万程、繰り越しが出ました。親睦活動内訳やニコ BOX 特別会計の説明もされました。【資料あり】③2012-13 年度予算報告(荒木前年度会計)：昨年同様、会費は 16000 円で計上、特に変わったのは、米山寄付金が 4000 円から 6000 円になりました。新規事業が、福野菊まつり清掃活動や井波青少年交流事業などが挙げられています。【本来なら、初例会で、行うべきところ、遅延しました】【意見(斉藤)：50 万円も残っているのはおかしい。活動が不十分だったのではないかな。もっと濃い中味のある活動にしたい。意見だが。回答(荒木)：予算は潤沢ではないが、このままでよいかな、事業を見ながら考えて行きたい。】④出席委員会：本日 20 名中 18 名出席 (90.00%)

8. **ニコニコBOX**(SAA：本日 6 名 9000 円)

河合会長：ゲストの山田さん、ビジターの忠永さん、西川さん、ようこそお越しくださいました。涼しくお過ごし下さい。

上田幹事：7/14-16 の 3 連休は何となく過ぎてしまいました。7/15、富山観光ホテルで東日本大震災のチャリティーディナーショーがありま

した。発起人の一人になり、自分の友達の歌手がメインゲストで出演、大成功で終わりました。

高瀬会員：北陸地方も梅雨明け宣言が発表されました。熱中症に気をつけて暑い夏を乗り越えましょう。所用のため、早退します。

山本会員：(猛暑見舞い)日本で 2 番目の暑い日曜日に誘われてチューリップスタジアムに高校野球を見に行きました。32-0 の試合を見学し、熱中症になりかかりました。来週、九州へ娘の応援ツアーで欠席します。

助田会員：郵便局株式会社井波郵便局長、山田源治様、本日の卓話ありがとうございます。市民の皆様にあえられる地域井波郵便局になる様に願っております。

中島 SAA：昨日、富山地方気象台がアブラゼミの初鳴きが観測されたと発表。いよいよ本格的な夏の訪れですね。お互いに熱中症に気をつけましょう。



卓話「無題」

山田源治氏(郵便局株式会社井波郵便局長)

助田会員(紹介者)：郵便局株式会社井波郵便局長。アメリカの方針に従った郵政はガタガタになった。綿貫氏の新党結成も郵政問題が契機。

山田氏：郵便状況の変わりようを話したい。家は砺波の鷹栖。今、60 歳。51 年に入局。31 年目。村松局長の後

任として井口から就任。4年目に入る。以前の単身赴任は大変であった。郵政民営化の法改正で5つの会社に分割。郵便事業会社、郵便局会社、ゆうちょ銀行と郵便保険会社、日本郵政株式会社。配達は郵便事業会社で全く別会社。配達と窓口とは別。配達の部屋には入れない。間仕切りがある。法改正があつて分離されたとき、これに膨大なお金をかけた。日本郵政株の売買の権限は政府にある。政府が大株主。株の放出はしない、政府のもとに100%売却はしない。全国津々浦々の法律でシバリがあるので効率化は難しい。離島でもその義務がある。店舗を減らすな、という方針で約1万6千店の内の多くは赤字の現状。民間になれば効率や統廃合ができる、とあったが。改正前は220兆円の資産は政府が保証していた。日本生命KKの倍の資産を持っていたが、それを外資が狙ってくる。ニュージーランドの例では民営化されて郵便局は無くなり、国営郵便局を再生したという。郵政改正の一番の問題は、東日本大震災で局の建物の多くが流されたこと。流されたから、仮局の新築まで、局会社は郵便を預かることもできない。事業会社との話もうまく行かない。この4月27日、国会で5社から4社に改正（再び）された。日本郵政株式会社、日本郵便株式会社、ゆうちょ銀行と郵便保険会社に。来年の5月までに移行期間がある。10月以降は情勢がどうなるのか分からない。日本郵政の下に郵貯と郵便と事業会社の3社となる。民営化に控えて2兆円の基金を積んだ。井波の配達は形は砺波支店（局）の従業員。決まっていることは砺波支店のこと。福野、井波、城端、平など7つの配達センターの郵便を扱うことになる。井波は不透明。13名と人員が少ない。人事も分からない。今のオレンジ色のロゴマークは赤色になる。これまでの改正に相当のお金を使ったのに、10月から順次変えていかねばならない。かもめーるの暑中・残暑見舞いと大分農協発のカボス果汁の宣伝をしたい。カボスは人気があり、考えられない数が出た。かんぼ夏トクキャンペーンもお願いしたい。今後とも地域に根ざした民営化を進め、地域にお役に立つ日本郵政グループになりたい。

（質問）坂井会員：民営化の感想はどうだったか。

山田氏：自由になった、民営化は反対ではなかった。名前は良いが法律に縛られ過ぎた。期待外れも多かったが。



（資料）

・会社統合に向けた準備作業について（平成24年6月：日本郵政グループ）